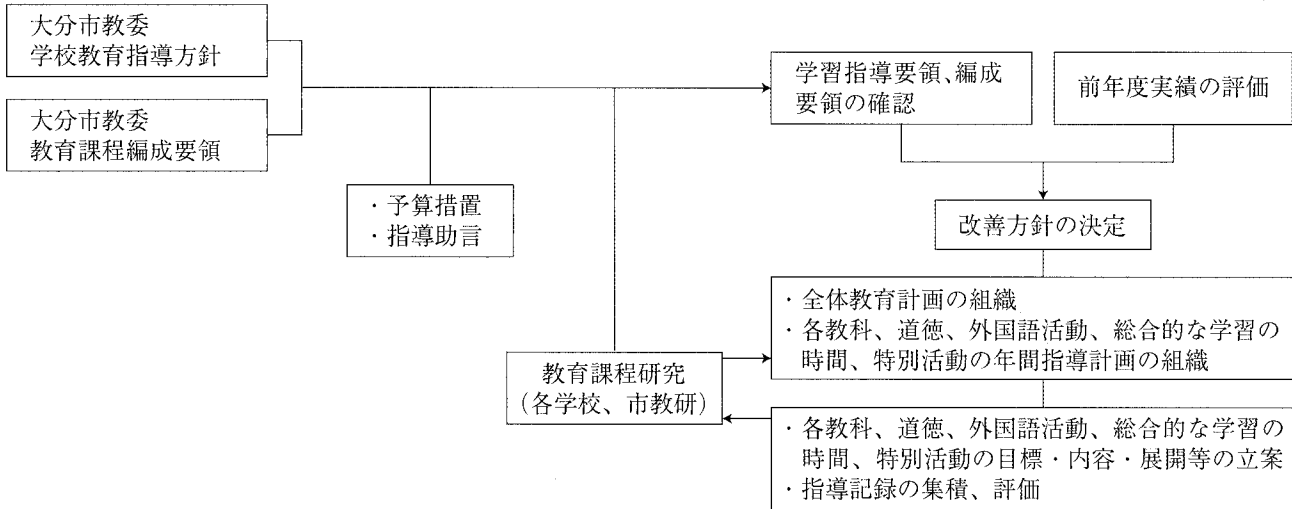


学 校 教 育

1 教育課程の改善と充実

大分市学校教育指導方針、教育課程編成要領等に基づき、各学校において地域社会や学校の特性を生かし、創意工夫を生かした特色ある教育課程の編成・実施及び改善に生かす評価に努める。

(1) 教育課程改善の進め方



(2) 特色ある学校づくり

各学校（園）、子ども、保護者との信頼関係を基調に、指導内容・方法及び評価を含め、学校の組織・運営の在り方等の見直しを図りながら、創意工夫を生かした特色ある学校づくりの推進に努め、子どもたちの生きる力を育成する。

(3) 小中一貫教育

大分市教育委員会では、子どもたちの生きる力の育成を目指し、小中学校の教職員が共通の教育観・指導観をもち、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行う小中一貫教育を推進している。

平成19年度に併設型の小中一貫教育校モデル校を開校し、平成22年度に市内の6中学校区を連携型の小中一貫教育推進校に指定しており、平成23年度には、連携型小中一貫教育校モデル校を指定するとともに、全市において小中一貫教育を展開する。

① 大分市小中一貫教育校モデル校（併設型）〈平成19年4月開校〉

賀来小中学校

- 〈取組内容〉 ・義務教育9年間を前期（小1～小4）、中期（小5～中1）、後期（中2、中3）の3段階に分け、教育課程を編成
- ・中期段階に一部教科担任制を導入
- ・第1学年から英語科を導入
- ・公開研究発表会

※教育課程特例校として文部科学大臣より認可

（平成20年10月16日）

② 大分市小中一貫教育推進校（連携型）〈平成22年度指定〉

- 1中学校と3小学校の校区 碩田中学校区 野津原中学校区
神崎中学校区
- 1中学校と1小学校の校区 吉野中学校区 竹中中学校区
佐賀関中学校区

- 〈取組内容〉 ・連携型小中一貫教育校モデル校に向けての取組
- ・教育課程の研究
- ・公開研究会 など

※大分市小中一貫教育推進協議会（年3回開催）



平成21年度賀来小中学校豊賀祭

(4) 大分っ子基礎学力アップ推進事業

① 学力検査の実施状況

児童生徒の知的学力の状況を客観的に把握し、各学校における指導の工夫改善に生かす。

| 名 称 | 学 年 | 教 科 |
|-----------|-------|-------------|
| 大分市標準学力検査 | 小学校4年 | 国語、算数 |
| | 中学校1年 | 国語、社会、数学、理科 |
| | 中学校2年 | 社会、理科 |
| | 中学校3年 | 社会、理科、英語 |

* その他、国、県で実施している調査

| | | |
|-----------------------|-------|----------|
| 全国学力・学習状況調査 (抽出調査) | 小学校6年 | 国語、算数 |
| | 中学校3年 | 国語、数学 |
| 県基礎・基本の定着状況調査 | 小学校5年 | 国語、算数 |
| | 中学校2年 | 国語、数学、英語 |

② 大分っ子学習力向上推進事業

児童生徒一人一人に確かな学力をはぐくむことを目指して、市内の小中学校において、教科指導における個に応じたきめ細かな指導を行うための非常勤講師と、特定小規模校（複式学級がある小学校）に、学年別の指導や課題別の指導等を行う非常勤講師を大分市独自で採用し、申請のあった学校に配置する。

ア 小学校での算数、中学校での数学、英語の教科指導における個別指導や習熟度別指導

（小学校16校に16名、中学校2校に4名の非常勤講師を配置）

イ 小学校の複式学級において、学年別の指導や課題別の指導

（2複式学級を有する小学校4校に4名の非常勤講師を配置）

③ 学校研究の助成

自ら学ぶ力の育成を図る教育活動の充実を目指し、教科指導の在り方等について研究を深め、基礎学力向上研究推進校の児童生徒の確かな学力の向上に資するとともに、公開授業研究会等を通し、その成果の普及に努め、本市児童生徒の学力向上に向けての取組の充実を資する。

| 事業名等 | 指定学校名 | 備考 |
|----------------|---------------------------------------|----|
| 大分市基礎学力向上研究推進校 | 松岡小学校、東大分小学校、戸次小学校、宗方小学校、城南中学校、植田東中学校 | 市 |
| 研究開発学校 | 荷揚町小学校 | 国 |

(5) 特別支援等教育活動サポート事業

大分市独自で補助教員を配置し、教育的配慮の必要な児童生徒や学校になじめない児童生徒等への支援を行うなど、一人一人によりいっそう行き届いた教育の実現を図っている。

補助教員は、次のような児童生徒が在籍する学級や学校への支援を行っている。

ア 肢体が不自由で、常時介護が必要な児童生徒

イ 耳が不自由でノートテイクが必要な児童生徒

ウ LD、ADHD児等教育的支援の必要な児童生徒

エ その他、学校運営上特に適切な対応が求められる児童生徒

本年度は、小学校に53名、中学校に10名の補助教員を配置した。

(6) 大分市学校図書館活性化事業

学校図書館を効果的に活用した教育活動の一層の充実が求められている。

大分市では、学校図書館法に基づき、平成15年度から12学級以上の小中学校に教育課程に即した読書指導の中心的な役割を担う司書教諭を配置している。

豊かな感性や情操をはぐくむ読書活動の一層の推進を目指し、平成19年9月から教職員やボランティアと連携・協力して学校図書館の業務を支援する職員「学校図書館支援員」をすべての小中学校に配置している。

学 校 教 育

(7) 生き生き学習サポート事業

各学校の地域と一体となった多様な学習活動を支援し、子どもの学習意欲の喚起や自ら学び自ら考える力などの生きる力をはぐくむため、専門的な知識、技能、技術や豊富な経験を有する方を、学校教育支援員として登録する「学校教育支援バンク」を設置する。市内各小中学校は、学校教育支援員及び各学校の人材バンクの地域人材を活用する。

「学校教育支援バンク」

| 分 野 | | 人数 |
|---------|------------|----|
| 教育等一般 | 人権・同和教育 | 3 |
| | 福祉・健康 | 1 |
| 人文・社会科学 | 歴史（郷土史）・地理 | 14 |
| | 政治・経済 | 4 |
| | 民俗・文化財 | 1 |
| 自然科学 | 天文・地学 | 2 |
| | 動物・植物 | 5 |
| | 科学 | 2 |
| | 算数・数学 | 0 |

| 分 野 | | 人数 |
|------------|----------|----|
| 産業・技術 | 産業・技術 | 1 |
| 芸術・文化 | 美術・工芸 | 6 |
| | 音楽・芸能 | 19 |
| | 文学・文芸 | 5 |
| 体育・スポーツ・レク | レク・体力づくり | 4 |
| 家庭生活・趣味 | 食生活 | 6 |
| | 園芸・手芸 | 10 |
| 市民生活・国際理解 | 国際理解・協力 | 6 |
| | 環境教育 | 11 |

(8) 学校評議員

① 学校評議員制度とは

より一層地域に開かれた学校づくりを進める観点から、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みを制度的に位置付けたものである。小中学校1校につき5名以内で構成され、本年度は、419名が校長の推薦により、大分市教育委員会から委嘱されている。また、平成21年度から幼稚園においても、学校評議員制度を導入し、今年度は合計99名の学校評議員を委嘱している。

② 年間の活動

ア 年間3回の学校評議員会

イ 学力向上会議、授業参観、学校評価等への参加

ウ 入学式、卒業式、運動会等の学校行事への参加

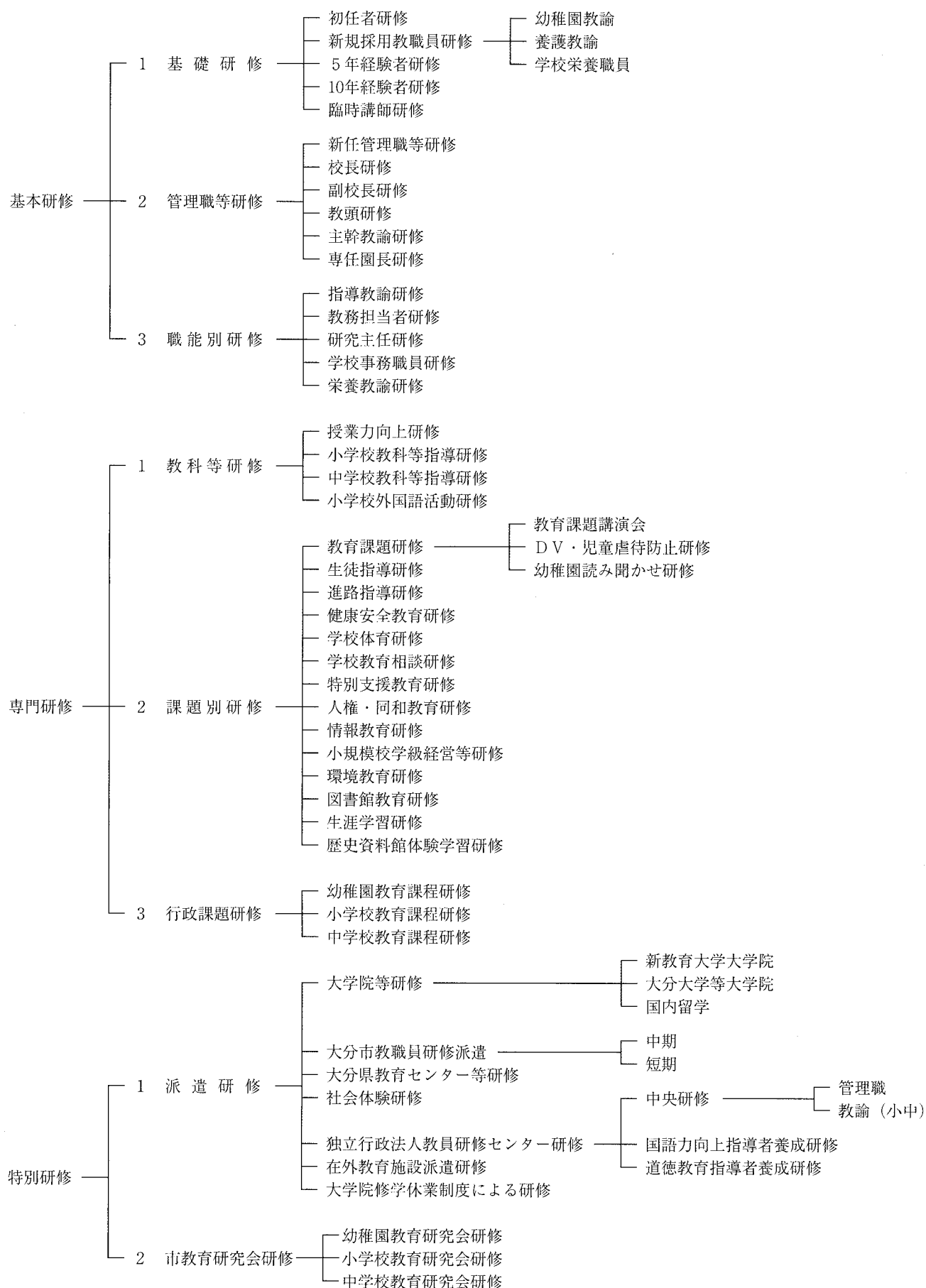
③ 学校評議員研修会

学校評議員制度導入から10年目を迎え、制度の一層の充実を図るため、平成19年度から各校の学校評議員を対象に、「学校評議員研修会」を実施し、大分市学校教育指導方針や学校評議員制度についての学習、日頃の取組の情報交換等を行っている。

(9) 補助教材の編集と配布または大分市ホームページでの公開（資料提供）

| 種 類 | 対象学年 | 種 類 | 対象学年 |
|-----------------|---------|------------------|-----------|
| 社会科学習帳 | 小学校3・4年 | くらしと下水道 | 小学校4年 |
| 自転車の正しい乗り方 | 小学校3年 | わたしたちと環境（くらしとごみ） | 小学校4・5・6年 |
| 水道とくらし | 小学校4年 | ふくしの心 | 小学校5・6年 |
| 安全なくらしを守る大分市の消防 | 小学校4年 | 消費とくらし | 小学校6年 |

2 教職員研修



学 校 教 育

(1) 大分市教職員研修派遣（短期）

目的 他府県の特徴のある幼稚園・小中学校の教育活動、教職員の研究状況を視察することによって教育実践の工夫・改善を図るとともに本市教育の改善、振興に資する。

(2日間程度)

| 年 度 | 校 長 | 教 頭 | 教 諭 等 (事務職を含む) | 計 |
|-----|-----|-----|-------------------|----|
| 17 | 2 | 1 | 11 | 14 |
| 18 | 2 | 2 | 10 | 14 |
| 19 | 2 | 2 | 6 | 10 |
| 20 | 2 | 1 | 5 | 8 |
| 21 | 2 | 0 | 6 | 8 |

※この制度は昭和43年度から継続している。

(2) 大分市教職員研修派遣（中期）

目的 他府県の国公立幼稚園、小中学校等に派遣して研修させることにより、教育実践に必要な知識、技能を習得させ、本市教育の改善、振興に資する。

(一週間程度)

| 年度 | 対 象 | 派遣先 | 人数 | 内 容 | 期 間 |
|----|---------|-------------|----|-------------------------------------|---------|
| 17 | 小・中教諭 | 北陸・東海 近畿 | 7 | 基礎・基本の定着、養護教諭の 複数配置、小中一貫教育等 | 11月～2月 |
| 18 | 幼・小・中教諭 | 北陸・東海 近畿 | 6 | 幼小連携、預かり保育、地域と の連携、学校の安全管理等 | 10月～1月 |
| 19 | 幼・小・中教諭 | 北陸・近畿 中国 | 5 | 幼小連携、学力向上、学校・地 域・家庭の連携、小中連携 | 11月～12月 |
| 20 | 小・中教諭 | 近畿・中国 | 6 | 特別支援教育、国語力向上、造形的 な創造活動、小中連携、道徳教育 | 11月～1月 |
| 21 | 小・中教諭 | 近畿・中国 九州 | 5 | 通級指導教室、特別支援教育 人権・同和教育、道徳教育 | 11月～2月 |

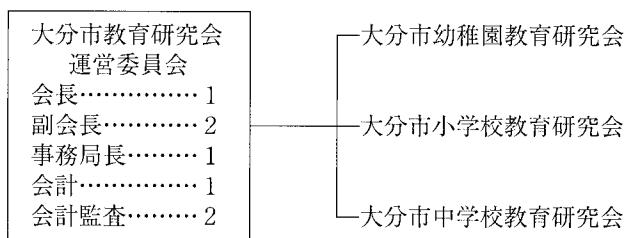
(3) 教育実践記録

研究意欲を高め、教育の振興を図ることを目的とし、昭和33年から始まり平成22年度で53回目を迎える教育実践記録の募集を継続事業として実施している。

| 年度 | | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
|--------|-----|----|----|----|----|----|
| 区 分 | 優 秀 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 |
| | 優 良 | 9 | 9 | 6 | 6 | 7 |
| | 佳 作 | 17 | 11 | 11 | 4 | 11 |
| | 計 | 30 | 23 | 21 | 14 | 22 |

3 教育研究会

(1) 大分市教育研究会の組織と体制



(2) 年間研究計画

① 大分市幼稚園教育研究会

| 集会名 | 期日(予定) | 内 容 |
|------|--------|-------------|
| 全市集会 | 5月15日 | 研究計画、班別研修 |
| 班別集会 | 6月5日 | 班別研修 |
| 班別集会 | 7月3日 | 班別研修 |
| 班別集会 | 8月27日 | 班別研修 |
| 班別集会 | 10月27日 | 提案保育、協議 |
| 班別集会 | 12月4日 | 班別研修 |
| 班別集会 | 1月19日 | 提案保育、協議、まとめ |

② 大分市小学校教育研究会

| 集会名 | 期日(予定) | 内 容 |
|------|--------|----------------------|
| 部会研究 | 5月19日 | 組織の決定、研究課題、研究仮説、研究計画 |
| 部会研究 | 6月16日 | 指導案審議 |
| 部会研究 | 7月7日 | 提案授業、研究協議 |
| 部会研究 | 8月31日 | 研究協議、研究計画 |
| 部会研究 | 10月13日 | 提案授業、研究協議、部会のまとめ |
| 部会研究 | 11月24日 | 指導案審議 |
| 部会研究 | 1月19日 | 提案授業、研究協議、まとめ |

③ 大分市中学校教育研究会

| 集会名 | 期日(予定) | 内 容 |
|------|--------|---------------------|
| 全市集会 | 5月28日 | 総会、研究計画、部会編成、研究主題決定 |
| 地区集会 | 6月28日 | 授業研究、課題研究 |
| 地区集会 | 8月30日 | 課題研究、実技研修、実地見学 |
| 地区集会 | 10月28日 | 授業研究、課題研究 |
| 地区集会 | 11月30日 | 授業研究、課題研究 |
| 全市集会 | 1月17日 | 研究経過のまとめと報告 |

4 進路指導

(1) 進路指導の重点

- ① 進路指導の全体計画を明確にし、学年・発達段階に即した小学校からの系統的な指導の積み上げを重視し、進路意識の高揚を図る。
- ② 進路指導主事の役割を明確にし、校内指導体制の整備・充実を進める。
- ③ 適切な進路情報や資料の収集・活用を徹底し、進路指導の充実を図る。
- ④ 学級活動における実践的研究を推進する。
- ⑤ 進路指導の改善を図り、評価の方法を工夫するとともに主体的な進路選択能力の育成に努める。

(2) 大分市進路指導研究会 研究活動

| 事業 | 内 容 | 場 所 | 期 日 |
|--------------|---|-------------|-------|
| 1 総会 | ①平成21年度事業報告 ②役員・事務局紹介 ③平成22年度事業計画 | 大分市情報学習センター | 6月4日 |
| 2 中・高進路指導研修会 | ①講演 ②研究協議 | 別府市 | 8月9日 |
| 3 進路指導講座 | ①一般教職員対象 ②授業研究 ③小中の意見交換 | 大分市情報学習センター | 8月24日 |

5 学 校 体 育

(1) 体力・運動能力調査

新体力テストを実施することにより、児童生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、今後の体育指導の資料とするとともに、児童生徒一人一人が体力・運動能力に関心をもち、進んで自己の体力や能力に応じた体育活動を実践するための動機づけとす
るために実施。

(2) 大分市水泳指導者研修

市営温水プールにて、小・中学校の教員の指導力を高めることを目的に、「着衣泳」・「課題別指導法（初心者指導・泳法指導）」についての実技研修会を実施。

(3) 小・中学校体育主任研修

学校水泳プールの安全衛生管理ならびに、年間指導計画を見通した体育主任の役割や実務について理解を深め、体育主任としての実践的指導力の向上にかかわる研修会を実施。

(4) 武道指導者養成講習会

※県教委共催

中学校の保健体育担当教員等を対象に、武道の基本技能の習得を図り、実技の指導力を高めるとともに、柔道・剣道の段位取得を促進することにより、武道指導及び学校体育指導の充実を図るために実施。

(5) 学校体育指導者研修（体力向上指導者研修）

学校体育における諸課題について、講義及び実技（コーディネーショントレーニング）をとおして、実践的指導力の向上を図るために研修会を実施。

(6) 運動部活動指導者研修

運動部活動における選手の発達の特性に応じた効果的なトレーニングのあり方について、講義及び実技をとおして理解を深めるとともに、実践的指導力の向上を図るため実施。

(7) 中学校体育連盟各種競技会

地区大会、総合体育大会、新人大会、駅伝競走大会等を実施。

① 運動部活動入部生徒の状況（平成22年5月28日現在）

- ・合計…部数（412部）、部員数（8,697名）
- ・市内中学生12,926名に対し、67.3%の生徒が入部し、活動している。

② 平成22年度大分県中学校総合体育大会

- ・期日 平成22年7月28日（水）～30日（金）
- ・会場 大分市、別府市

③ 平成22年度九州中学校体育大会

- ・期日 平成22年8月5日（木）～12日（木）
- ・会場 九州各県

④ 平成22年度全国中学校体育大会

- ・期日 平成22年8月17日（火）～25日（水）
- ・会場 中国ブロック

⑤ 平成21年度大分県中学校総合体育大会成績

○優勝…団体14競技、個人34種目

- ・新体操女子（東陽中）・バレー女子（戸次中）
- ・バスケ女子（鶴崎中）・サッカー（大在中）
- ・水泳女子（滝尾中）
- ・ソフトボール男子（明野中）
- ・柔道女子（植田西中）・剣道女子（東陽中）
- ・バドミントン男子（判田中）
- ・バドミントン女子（城東中）
- ・ハンドボール男子（滝尾中）
- ・ハンドボール女子（原川中）
- ・空手道組手男子（大在中）
- ・空手道形男子（戸次中）

⑥ 平成21年度九州中学校体育大会成績

ア 団体

- 優 勝…ソフトボール男子（明野中）
剣道女子（東陽中）
- 第2位…サッカー（明野中）
ハンドボール男子（滝尾中）
- 第3位…軟式野球（上野ヶ丘中）
空手道組手男子（大在中）
柔道女子（植田西中）

イ 個人

- 優 勝
近藤修平（大東中）陸上（3年1500m）
- 第2位
足立紗矢香（滝尾中）陸上（1年100m）
浦野里紗（大分西中）水泳（50m自由形）
渡辺知子（東陽中）剣道
岡田果穂（植田西中）柔道（70kg級）
- 第3位
中島勇貴（城南中）柔道（90kg超級）
小西 楓（東陽中）剣道
森田れい子（滝尾中）剣道

⑦ 平成21年度全国中学校体育大会成績

イ 個人

- 第3位
近藤修平（大東中）陸上（共1500m）

⑧ 平成21年度大分県中学校駅伝競走大会成績

- 優 勝 女子 滝尾中
- 第2位 男子 大東中

6 福田展・朝倉展

趣 旨

郷土出身の画家故福田平八郎先生、彫刻家故朝倉文夫先生の御遺志を長く本市教育に生かすために「福田平八郎賞」、「朝倉文夫賞」基金条例を制定し、昭和37年度から図画展、昭和44年度から彫塑展を開いて、市内小中児童生徒の図工・美術教育の振興を図っている。

(1) 福田展の記録

昭和37年5月1日～6日

トキハ文化ホールにおいて福田平八郎画伯近作展が開かれる。

昭和38年2月6日～10日

市条例により「福田平八郎賞」大分市小・中学校図画展がはじまる。

| 回 | 期 間 | 会 場 | 応募作品数 | 入選数 | 入賞者 |
|----|---------------------|---------|--------|-------|-----|
| 44 | 平17.11.18 ～11.25 | コンパルホール | 42,196 | 4,274 | 468 |
| 45 | 平18.11.17 ～11.24 | 同 上 | 42,185 | 4,274 | 471 |
| 46 | 平19.11.15 ～11.22 | 同 上 | 41,983 | 4,251 | 471 |
| 47 | 平20.11.13 ～11.20 | 同 上 | 42,010 | 4,249 | 469 |
| 48 | 平21.11.11 ～11.19 | 同 上 | 41,831 | 4,229 | 466 |



「朝倉文夫賞」彫塑展

(2) 朝倉展の記録

昭和42年10月6日～19日

大分文化会館において朝倉文夫遺作展が開かれる。

昭和44年11月6日～10日

市条例により「朝倉文夫賞」大分市小・中学校彫塑展がはじまる。

| 回 | 期 間 | 会 場 | 入賞者数 |
|----|-----------------|---------|------|
| 37 | 平17.11.18～11.25 | コンパルホール | 334 |
| 38 | 平18.11.17～11.24 | 同 上 | 335 |
| 39 | 平19.11.15～11.22 | 同 上 | 334 |
| 40 | 平20.11.13～11.20 | 同 上 | 333 |
| 41 | 平21.11.11～11.19 | 同 上 | 336 |



「福田平八郎賞」図画展

7 大分市奨学資金制度

(1) 定期採用

① 奨学生の資格

- ア. 保護者が大分市内に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校及び大学に在学中の者
- ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者
- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者

② 貸与の区分、期限及び金額等

| 学 校 | 区 分 | 期 間 | 金 額 (1人当月額) | 返 還 |
|---------|-------|---------|-------------|--|
| 高 等 学 校 | 無利子貸与 | 正規の修学期間 | 国公立 10,000円 | 貸与を終了した日から6ヶ月を経過する日の 属する月の翌月から15年以内 |
| 高等専門学校 | | | 私 立 20,000円 | |
| 大 学 | 〃 | 〃 | 45,000円 | 〃 |

・平成18年度から高等学校、高等専門学校生は、贈与から貸与となる。

③ 奨学生の決定方法

教育委員会が委嘱した市内の高等学校の長、中学校の長、民生委員・児童委員から推薦された者及び教育委員会が委嘱した学識経験者をもって組織する大分市奨学生選考委員会（委員10名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

④ 平成21年度の贈・貸与状況

| 学 校 | 学 年 及 び 人 数 | | | | | | | 金 額 |
|---------|-------------|----|----|----|---|---|-----|-------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 | |
| 高 等 学 校 | 59 | 56 | 41 | 1 | 3 | 0 | 160 | 47,799,000円 |
| 高等専門学校 | | | | | | | | |
| 大 学 | 31 | 28 | 33 | 30 | 1 | 1 | 124 | 65,952,000円 |

(2) 緊急採用

当分の間、特例措置として、修学意欲があるにもかかわらず、家計急変により修学困難となり緊急に学費を必要とする者を対象とし、年間随時受付を行う。

平成21年度の贈・貸与状況

| 学 校 | 学 年 及 び 人 数 | | | | | | | 金 額 |
|---------|-------------|---|---|---|---|---|---|----------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 計 | |
| 高 等 学 校 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 180,000円 |
| 高等専門学校 | | | | | | | | |
| 大 学 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0円 |

(3) 大石奨学金

大石奨学資金は個人からの寄付を原資とし、学業人物ともに優秀で、かつ経済的理由により修学困難な者に対して学資の一部を贈与する制度。

① 奨学生の資格

- ア. 申請者及び申請者の保護者が引き続き2年以上大分市に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学中の者
- ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者
- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者
- オ. 大分市奨学資金及び大分市緊急採用奨学資金との併用をしない者

② 贈与金額 1人当月額 10,000円

③ 贈与期間 在学する高校等の入学から起算して最大3年間

④ 奨学生の決定方法

教育長が依頼した者をもって組織する大石奨学生選考委員会（委員5名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

⑤ 平成21年度の贈与状況

| 学 年 | 1 | 2 | 3 | 計 | 金 額 |
|-----|---|---|---|----|------------|
| 人 数 | 4 | 4 | 4 | 12 | 1,440,000円 |

8 大分市立小・中学校隣接校選択制

隣接校選択制は、小・中学校とも、居住地によって定められた「指定校」の他に、指定校の通学区域に隣接する通学区域の学校（隣接校）への入学を希望することができる制度であり、小・中学校とも、児童生徒、保護者が、通学の安全性や通学距離、各学校の特色等を考慮し、自ら学校を選択できる機会を拡大した。

平成19年度から2年間、区域を限定し、小・中学校へ入学する新1年生を対象に試行実施。平成21年度入学生から全市で実施した。

小・中学校隣接校一覧

| 区分 | 地 区 | No | 指定校 | 隣 接 校 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-----------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 小 学 校 | 大 分 | 1 | 金 池 | 長 浜 | 大 道 | 豊 府 | 荷 揚 町 | 下 郡 | 滝 尾 | 森 岡 | | | | | | | | | | |
| | | 2 | 長 浜 | 金 池 | 荷 揚 町 | 住 吉 | 中 島 | 舞 鶴 | 津 留 | 下 郡 | | | | | | | | | | |
| | | 3 | 荷 揚 町 | 中 島 | 春 日 町 | 大 道 | 金 池 | 長 浜 | | | | | | | | | | | | |
| | | 4 | 中 島 | 住 吉 | 荷 揚 町 | 春 日 町 | 長 浜 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 5 | 春 日 町 | 八 幡 | 荷 揚 町 | 中 島 | 大 道 | 西 の 台 | | | | | | | | | | | | |
| | | 6 | 大 道 | 荷 揚 町 | 春 日 町 | 金 池 | 城 南 | 西 の 台 | 南 大 分 | 豊 府 | | | | | | | | | | |
| | | 7 | 西 の 台 | 春 日 町 | 大 道 | 城 南 | 八 幡 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 8 | 南 大 分 | 豊 府 | 大 道 | 城 南 | 荏 隈 | 寒 田 | 東 植 田 | 宗 方 | | | | | | | | | | |
| | | 9 | 城 南 | 荏 隈 | 南 大 分 | 賀 来 | 西 の 台 | 大 道 | 八 幡 | | | | | | | | | | | |
| | | 10 | 荏 隈 | 城 南 | 賀 来 | 南 大 分 | 宗 方 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 11 | 豊 府 | 金 池 | 南 大 分 | 大 道 | 森 岡 | 寒 田 | | | | | | | | | | | | |
| | | 12 | 八 幡 | 春 日 町 | 神 崎 | 西 の 台 | 賀 来 | 城 南 | | | | | | | | | | | | |
| | | 13 | 神 崎 | 八 幡 | (春日町) | (西の台) | (賀来) | (城南) | | | | | | | | | | | | |
| | | 14 | 滝 尾 | 下 郡 | 明 野 西 | 森 岡 | 松 岡 | 敷 戸 | 明 治 | 金 池 | | | | | | | | | | |
| | | 15 | 下 郡 | 滝 尾 | 津 留 | 明 野 西 | 東 大 分 | 長 浜 | 金 池 | | | | | | | | | | | |
| | | 16 | 森 岡 | 滝 尾 | 鴛 野 | 敷 戸 | 寒 田 | 金 池 | 豊 府 | | | | | | | | | | | |
| | | 17 | 東 大 分 | 日 岡 | 明 野 北 | 津 留 | 舞 鶴 | 桃 園 | 明 野 西 | 下 郡 | | | | | | | | | | |
| | | 18 | 日 岡 | 桃 園 | 東 大 分 | 三 佐 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 19 | 桃 園 | 明 治 北 | 日 岡 | 東 大 分 | 明 野 北 | 別 保 | 鶴 崎 | 三 佐 | | | | | | | | | | |
| | | 20 | 津 留 | 東 大 分 | 舞 鶴 | 下 郡 | 長 浜 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 21 | 舞 鶴 | 津 留 | 東 大 分 | 住 吉 | 長 浜 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 22 | 住 吉 | 中 島 | 長 浜 | 荷 揚 町 | 舞 鶴 | | | | | | | | | | | | | |
| 小 学 校 | 明 野 | 23 | 明 野 西 | 明 野 東 | 明 野 北 | 滝 尾 | 下 郡 | 東 大 分 | 明 治 | | | | | | | | | | | |
| | | 24 | 明 野 東 | 明 野 西 | 明 野 北 | 明 治 | 明 治 北 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 25 | 明 野 北 | 明 野 東 | 明 野 西 | 桃 園 | 明 治 北 | 東 大 分 | 明 治 | | | | | | | | | | | |
| | 鶴 崎 | 26 | 三 佐 | 鶴 崎 | 日 岡 | 桃 園 | 大 在 西 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 27 | 鶴 崎 | 三 佐 | 桃 園 | 別 保 | 高 田 | 大 在 西 | 川 添 | | | | | | | | | | | |
| | | 28 | 別 保 | 鶴 崎 | 高 田 | 桃 園 | 明 治 | 明 治 北 | | | | | | | | | | | | |
| | | 29 | 明 治 | 明 治 北 | 明 野 東 | 明 野 西 | 松 岡 | 別 保 | 滝 尾 | 明 野 北 | 高 田 | | | | | | | | | |
| | | 30 | 明 治 北 | 明 治 | 別 保 | 桃 園 | 明 野 北 | 明 野 東 | | | | | | | | | | | | |
| | | 31 | 高 田 | 松 岡 | 鶴 崎 | 別 保 | 明 治 | 川 添 | | | | | | | | | | | | |
| | | 32 | 川 添 | 丹 生 | 戸 次 | 大 在 西 | 吉 野 | 鶴 崎 | 高 田 | 松 岡 | | | | | | | | | | |
| | | 33 | 松 岡 | 判 田 | 敷 戸 | 滝 尾 | 明 治 | 高 田 | 川 添 | 戸 次 | | | | | | | | | | |
| 大 南 | 34 | 戸 次 | 上 戸 次 | 吉 野 | 川 添 | 松 岡 | 判 田 | 竹 中 | | | | | | | | | | | | |
| | 35 | 上 戸 次 | 吉 野 | 戸 次 | 竹 中 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 36 | 吉 野 | 戸 次 | 上 戸 次 | 川 添 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 37 | 竹 中 | 判 田 | 上 戸 次 | 戸 次 | 野 津 原 東 部 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 38 | 判 田 | 竹 中 | 松 岡 | 鴛 野 | 田 尻 | 寒 田 | 敷 戸 | 植 田 | 戸 次 | 野 津 原 東 部 | | | | | | | | | |

学 校 教 育

| 区分 | 地 区 | No | 指定校 | 隣 接 校 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 小 学 校 | 植 田 | 39 | 東 植 田 | 田 尻 | 宗 方 | 寒 田 | 南 大 分 | 植 田 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 40 | 植 田 | 横 瀬 | 宗 方 | 田 尻 | 判 田 | 東 植 田 | 賀 来 | 野津原東部 | | | | | | | | | | | |
| | | 41 | 賀 来 | 城 南 | 荏 隈 | 八 幡 | 宗 方 | 植 田 | 賀 来 | 横 瀬 | 野津原東部 | | | | | | | | | | |
| | | 42 | 敷 戸 | 鴛 野 | 滝 尾 | 森 岡 | 松 岡 | 判 田 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 43 | 鴛 野 | 判 田 | 敷 戸 | 寒 田 | 森 岡 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 44 | 宗 方 | 植 田 | 東 植 田 | 南 大 分 | 荏 隈 | 賀 来 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 45 | 横 瀬 | 横 瀬 | 西 植 田 | 賀 来 | 野津原東部 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 46 | 横 瀬 | 横 瀬 | 賀 来 | 野津原東部 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 47 | 寒 田 | 田 尻 | 東 植 田 | 鴛 野 | 森 岡 | 判 田 | 豊 府 | 南 大 分 | | | | | | | | | | | |
| | 48 | 田 尻 | 判 田 | 寒 田 | 東 植 田 | 植 田 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 大 在 | 49 | 大 在 | 大 在 | 西 小 佐 井 | 丹 生 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 50 | 大 在 | 大 在 | 川 添 | 丹 生 | 三 佐 | 鶴 崎 | | | | | | | | | | | | | |
| | 坂ノ市 | 51 | 丹 生 | 小 佐 井 | 川 添 | 大 在 | 大 在 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 52 | 小 佐 井 | 丹 生 | 坂ノ市 | 大 在 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 53 | 坂ノ市 | 小 佐 井 | こうざき | 木 佐 上 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 佐 賀 関 | 54 | 木 佐 上 | 坂ノ市 | こうざき | 大志生木 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 55 | こうざき | 坂ノ市 | 木 佐 上 | 大志生木 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 56 | 大志生木 | こうざき | 佐 賀 関 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 57 | 佐 賀 関 | 大志生木 | (こうざき) | (木佐上) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 野津原 | 58 | 野津原東部 | 野津原中部 | 横 瀬 | 横 瀬 | 植 田 | 判 田 | 竹 中 | | | | | | | | | | | | |
| | | 59 | 野津原中部 | 野津原東部 | 野津原西部 | 今 市 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 60 | 野津原西部 | 野津原中部 | 今 市 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 61 | 今 市 | 野津原西部 | 野津原中部 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中 学 校 | 大 分 | 1 | 碩 田 | 上野ヶ丘 | 王 子 | 城 東 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 2 | 上野ヶ丘 | 碩 田 | 王 子 | 南 大 分 | 城 東 | 滝 尾 | | | | | | | | | | | | |
| | | | 3 | 王 子 | 上野ヶ丘 | 碩 田 | 大 分 西 | 城 南 | 南 大 分 | | | | | | | | | | | | |
| | | | 4 | 大 分 西 | 王 子 | 城 南 | 賀 来 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 5 | 南 大 分 | 上野ヶ丘 | 王 子 | 城 南 | 滝 尾 | 植 田 南 | 植 田 | | | | | | | | | | | |
| | | | 6 | 城 南 | 南 大 分 | 王 子 | 大 分 西 | 賀 来 | 植 田 | 植 田 西 | | | | | | | | | | | |
| | | | 7 | 滝 尾 | 城 東 | 明 野 | 大 東 | 植 田 東 | 上野ヶ丘 | 南 大 分 | 植 田 南 | | | | | | | | | | |
| | | | 8 | 城 東 | 滝 尾 | 明 野 | 原 川 | 碩 田 | 上野ヶ丘 | | | | | | | | | | | | |
| | | | 9 | 原 川 | 城 東 | 明 野 | 大 東 | 鶴 崎 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 明 野 | 10 | 明 野 | 滝 尾 | 城 東 | 原 川 | 大 東 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 鶴 崎 | 11 | 鶴 崎 | 原 川 | 大 東 | 東 陽 | 大 在 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 12 | 大 東 | 東 陽 | 鶴 崎 | 原 川 | 明 野 | 滝 尾 | 植 田 東 | 判 田 | 戸 次 | | | | | | | | |
| | | 大 南 | 13 | 東 陽 | 鶴 崎 | 大 東 | 戸 次 | 大 在 | 坂ノ市 | 吉 野 | | | | | | | | | | | |
| | | | 14 | 戸 次 | 東 陽 | 吉 野 | 大 東 | 判 田 | 竹 中 | | | | | | | | | | | | |
| | | | 15 | 吉 野 | 戸 次 | 東 陽 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 16 | 竹 中 | 戸 次 | 判 田 | 野津原 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 植 田 | 17 | 判 田 | 竹 中 | 大 東 | 植 田 東 | 植 田 南 | 植 田 | 戸 次 | 野津原 | | | | | | | | | | |
| | | | 18 | 植 田 | 植 田 南 | 植 田 西 | 南 大 分 | 城 南 | 野津原 | 判 田 | | | | | | | | | | | |
| | | | 19 | 植 田 東 | 滝 尾 | 植 田 南 | 判 田 | 大 東 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 20 | 植 田 西 | 植 田 | 城 南 | 賀 来 | 野津原 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 21 | 植 田 南 | 植 田 | 植 田 東 | 滝 尾 | 判 田 | 南 大 分 | | | | | | | | | | | | |
| | | 22 | 賀 来 | 城 南 | 大 分 西 | 植 田 西 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 大 在 | 23 | 大 在 | 坂ノ市 | 東 陽 | 鶴 崎 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 24 | 坂ノ市 | 大 在 | 東 陽 | 神 崎 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 佐 賀 関 | 25 | 神 崎 | 坂ノ市 | 佐 賀 関 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 26 | | | 佐 賀 関 | 神 崎 | (坂ノ市) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 野津原 | | 27 | 野津原 | 植 田 | 植 田 西 | 判 田 | 竹 中 | | | | | | | | | | | | | | |

・学校情報の公開

児童生徒、保護者が、指定校や隣接校について十分な情報が得られるよう、学校案内の配布、学校ホームページの公開、学校公開日の設定等により学校情報を公開する。

・受入定員と抽選

各学校とも現有施設で対応し、余裕教室などの状況に応じて、受入定員を定め、希望者が受入定員を超過した場合は、公開抽選により受入者を決定する。